

第5話 散文の物語

まぼろしを見た石狩の女

収録日：1997年8月27日

資料番号：35236A

添付CD：5-5（11分14秒）

第5話 散文の物語「まぼろしを見た石狩の女」¹⁾

(石狩の女性が語る)

イシカツ タ
iskar_ ta
石狩 で

石狩で

マク イキ ワ アナン ペ ネ ルウェ ネ ヤ
mak iki wa an=an pe ne ruwe ne ya
どう し て 暮らす(私) もの な の だ か

どうしてなのか

アエラミシカリ ノ
a=eramiskari no
(私)わからない で

わからないまま

ポロ オハ チセ オツ タ
poro oha cise or_ ta
大きい 空の 家 の所 で

大きな誰もいない家で

5 プイネ アナン ペ ネ ヒケ オラ
puyne an=an pe ne hike ora
ひとりで 暮らす(私) もの だ が こんど

私はひとりで暮らしていました。

ポノノ ポロアニ オラノ
ponno poro=an _hi orano
少し 大きくなる(私) 時 こんど

少し大きくなると

エキムネアン ワ
ekimne=an wa
山獵に行く(私) して

山に行つて

ニペシケプアナ ア ナ ヒネ
nipeskep=an a an a hine
シナ皮剥ぎを何度もする(私) して

シナノキの樹皮をたくさん剥いで

ネ ニペシ アケプ ワ イワクアン コロ
ne nipes a=kep wa iwak=an kor
その シナノキ (私)剥い で 帰る(私) と

剥いだ皮を家に持ち帰り

10 オラノ アミム ネ ヤ キ コロ
orano a=mim ne ya ki kor
そして (私)裂く だ とか し ながら

それを裂いて

オポキン オラ ハラキカエカアン コロ²⁾
opokin ora harkikaeka=an kor
次々と こんど 縄を作る(私) しながら

次々と縄にして

- 1 調査年月日は1997年8月27日。アイヌ民族博物館で後日開催されるアイヌ文化教室「アイヌ文学講座」の事前調査として上田トシ氏宅で行われた。調査者は千葉大学中川裕氏。同席者は村木美幸。片山言語文化研究所編『アイヌ語日常会話集1 凍ったミカン』所収「第九章 まぼろしを見た石狩の女」(pp.45-56)が同氏による同話の映像記録である。田村すず子編著『アイヌ語音声資料5-二風谷の昔話と歌謡・神謡-』所収「私は石狩に住む女です(和人の夫をもった石狩の女の話)」(話者:平村つる)(pp.74-81)がほぼ同じ内容なので、上田氏はこれを聞いて聞き覚えたのかも知れない。
- 2 アイヌ文化では樹木ではオヒョウやシナノキやツルウメモドキ、野草ではイラクサ類など植物から糸を作る伝統がある。中でもシナノキは丈夫な糸や縄になるため日常生活で一般的に使われていたという。

アナン アイネ

an=an ayne

暮らす(私) うちに

いました。

ネ ハラキカ ウカオシマ コロ

ne harkika ukaosma kor

その 縄 を集める と

その作った縄がたまると

アセ ワ マチヤ オツ タ アラパアン ワ

a=se wa maciya or_ ta arpa=an wa

(私)背負っ て 町 の所 に 行く(私) して

背負って和人の町に行き

15 アエイヨク ワ クス アエプ アタサレ ワ
a=eiyok wa kusu aep a=tasare wa

(私)売る ために 食べ物 (私)交換し て

売って食べ物と交換して

イペアン コロ アナン ワ…

ipe=an kor an=an wa…

食べる(私) ながら 暮らす(私)

いました。

ネ ハラキカエカ パテク ネプキ ネ

ne harkikaeka patek nepki ne

その 縄作り ばかり 仕事 に

その縄作りばかりを仕事に

アキ コロ アナン ペ ネ イ クス オラ

a=ki kor an=an pe ne _hi kusu ora

(私)し ながら 暮らす(私)もの だ から こんど

していたので

シネアンタ ニペシケプ レウシ ニペシケプ

sineanta nipeskep rewsu nipeskep

あるとき シナ剥ぎ 泊まりの シナ剥ぎ

ある時泊まりがけでシナ剥ぎに

20 アキ クナク アラム コロ
a=ki kunak a=ramu kor

(私)すると (私)思い ながら

行こうと思いました。

エキムネアン ヒネ

ekimne=an hine

山へ行く(私) して

山に行くと

オラ ポン シトウ³ アン ヒ クス

ora pon situ an hi kusu

こんど 小さい 尾根 ある ので

小さい尾根筋があり

ネ シトウ チョロポ… ラ タ ピリカ

ne situ corpo… ra ta pirka

その 尾根 の下 下 に きれいな

その尾根の下に

アシ ルウエ ピリカ チクニ アン イ クス

as ruwe pirka cikuni an _hi kusu

立ち 姿 きれいな 木 ある ので

立ち姿のいい木がありました。

3 山の稜線。登山のときには見晴らしがよく自分の位置を把握しやすいため、尾根筋に沿って山を登り下りすることが多い。日本語では通称「馬の背」などとも言われる。

25 ネ チクニ オロ ワ アコロ ポイ ス ネ ヤ
 ne cikuni oro wa a=kor pon_ su ne ya
 その 木 の所 から (私)の 小さい 鍋 だ とか

その木から私の小さい鍋や

アコロ アエプ ネ ヤツカ
 a=kor aep ne yakka
 (私)の 食べ物 で も

食べ物を

ニ オロ ワ アラチツケレ ヒネ
 ni oro wa a=racitkere hine
 木 の所 から (私)ぶら下げ て

ぶらさげて

オラ シトウ ホントム パクノ アラパアン ヒネ
 ora situ hontom pakno arpa=an hine
 こんど 尾根 途中 まで 行く(私) して

尾根筋の途中まで行って

オラ ニペシケプアナ アナ ヒネ
 ora nipeskep=an a an a hine
 こんど シナ剥ぎを何度もする(私) して

皮剥ぎをしていました。

30 フムネ… ウン アルラ ヒ
 humne… un a=rura hi
 時に に (私)運ぶ こと

時々運んで来て

オラ ニペシ カプ… カプ アカラ コロ
 ora nipes kap… kapu a=kar kor
 こんど シナ 皮 その皮 (私)剥ぎ ながら

皮を剥いで

アナン ラポッケ
 an=an rapokke
 いる(私) うちに

いるうちに

シラウン インカラアン ルウェ ネ アクス
 siraun inkar=an ruwe ne akusu
 下の方 見る(私) こと だっ たところ

尾根の下の方を見ると

ネ アコロ ポイ ス
 ne a=kor pon_ su
 その (私)の 小さい 鍋

私の小さい鍋

35 アエプ アラチツケレ ア ポイ ス カ
 aep a=racitkere a pon_ su ka
 食べ物 (私)ぶら下げた 小さい 鍋 も

食べ物をぶら下げていた小さい鍋も

アエプ カ パシクル コトイセ ヒネ
 aep ka paskur kotoyse hine
 食べ物 も カラス 集まっ て

食べ物もカラスが集まって

オピッタ パシクル トウルセレパ ヒネ オラノ
 opitta paskur turserepa hine orano
 みんな カラス 落とし て そして

全部落として

オロ タ パシクル インネ パシクル アラキ ヒネ
 oro ta paskur inne paskur arki hine
 そこ に カラス 多くの カラス 来 て

カラスが群がって

ネ アコロ アエプ チャリチャリパ コロ オカ。
 ne a=kor aep caricaripa kor oka.
 その (私)の 食べ物 を散らかし て いる

食べ物を散らかしていました。

40 オラ アコロ ポイ ス カ
 ora a=kor pon_ su ka
 こんど (私)の 小さい 鍋 も

私の小さい鍋も

トウルセレ シリ イキ クス
 tursere siri iki kusu
 落とされる 様子 する ので

落とされたようで

シラウェコイキアン ヒケ カ
 sirawekoyki=an hike ka
 大声を出す(私) しても

大きな声を出しても

ネ パシクル ウタラ カ キラパ カ ソモ キ ノ
 ne paskur utar ka kirapa ka somo ki no
 その カラス 達 も 逃げ も しない で

そのカラス達は逃げもしませんでした。

オラ チサン コロ
 ora cis=an kor
 こんど 泣き(私) ながら

私は泣きながら

45 マク イキアン クス
 mak iki=an kusu
 どう する(私) ので

どうしよう

オヌマン ヘマンタ アエ クス セコロ
 onuman hemanta a=e kusu sekor
 晩 何 (私)食べよう と

夜に何を食べようと

ヤイヌアン ワ チサン コロ アナン ヒ クス
 yaynu=an wa cis=an kor an=an hi kusu
 思う(私) して 泣き(私) ながら いる(私) もの だから

思っ泣きながら

オラ トウナシノ ラナン ヒネ
 ora tunasno ran=an hine
 こんど 早くに 下る(私) して

急いで山を下りて

インカラアン アクス
 inkar=an akusu
 見る(私) したところ

見に行くと

50 アコロ ニペシ オピッタ アニンパ ヒネ
 a=kor nipes opitta a=ninpa hine
 (私)の シナ皮 みんな (私)ひきずる して

シナ皮をみんな引きずって

ラナン ヒネ インカラン アクス
 ran=an hine inkar=an akusu
 下る(私) して 見る(私) したところ

下りて行ってみると

ネア アコロ アエプ アチャリ カ ソモ キ。
 nea a=kor aep a=cari ka somo ki.
 その (私)の 食べ物 (私)散らかし も しない

その食べ物は散らかっていません。

ス カ アエプ カ ラムネ ヒ
su ka aep ka ramne hi
鍋 も 食べ物 も 丸のまま

鍋も食べ物もそのまま

ネノ オカ ヒ アナクネ
nenno oka hi anakne
そのように ある ことは

無事であるのは

55 オハインカラ アキ ヒ ネ クニ アラム ヒ クス
ohainkar a=ki hi ne kuni a=ramu hi kusu
まぼろしを見る (私)することだ と (私)思う ので

まぼろしを見たんだと思ったので

オラ イヨクヌレアン ネ ヤ オラ
ora iyokunnure=an ne ya ora
こんど 驚きあきれ(私)だ とか こんど

驚きました。

オロ タ レウシアン カ イシトマアン クス
oro ta rewsian ka isitoma=an kusu
そこ で 泊る(私) も 恐ろしい ので

そこに泊まるのも恐いので

オラ アコロ アエプ ネ ヤ ニペシ ネ ヤ
ora a=kor aep ne ya nipes ne ya
こんど (私)の 食べ物だ とか シナ皮だ とか

食べ物やシナ皮を

アニンパ ヒネ ネ ウシケ ワ
a=ninpa hine ne uske wa
(私)ひきずる して その 場所 から

ひきずってその場所から

60 カットウイマノ アラパアン ルウェ ネ アクス
kattuymano arpa=an ruwe ne akusu
離れて遠く 行く(私) こと だっ たところ

少し離れたところに行くと

オシンリッコメウケ チクニ ホラク ワ
osinritkomewke cikuni horak wa
根こそぎ 木 倒れ て

根こそぎ倒れた木

エハムトウラ カネ キ プ アニ クス
ehamtura kane ki p an _hi kusu
葉がついて も いる もの ある ので

葉がついたままの木があったので

オロ タ アペアリアン イネ
oro ta aperi=an _hine
そこ で 火を焚く(私) して

そこで火を焚いて

オロ タ レウシアン ヤクン
oro ta rewsian yakun
そこ に 泊る(私) ならば

泊まれば

65 ピリカ ノイネ アン ヒ クス
pirka noyne an hi kusu
良い ようで ある だ から

良いと思い

アペアリアン カ キ ヒネ
aperi=an ka ki hine
火を焚く(私) も し て

火を焚き

オラ スケアン ワ タネ イペアン カ キ。
 ora suke=an wa tane ipe=an ka ki.
 こんど 料理を作る(私)して もう 食事をする(私) も する

料理を作って食事をしました。

ラポッケ タネ シリホマラホマラ カ キ クス
 rapokke tane sirhomarhomar ka ki kusu
 そのうちに もう 陽が暮れる も する ので

そのうちにもう日が暮れて来たので

オラ トウナシノ イペオケレアン ヒネ
 ora tunasno ipeokere=an hine
 こんど 早くに 食事を終える して

急いで食事を終えて

70 オラ アペアリアン ルウェ… ネ…
 ora apear=an ruwe… ne…
 こんど 火を焚く(私) こと で

火にあたっていました。

アペ パラパラセ ヒ クス サマ タ
 ape parparse hi kusu sama ta
 火 燃える だ から そば に

火が燃えているそばで

ニペシ カプ… カプ アカラ コロ アナン アイネ
 nipes kap… kapu a=kar kor an=an ayne
 シナ 皮 その皮 (私)剥ぎ ながら (いる)私 うちに

シナ皮の処理をしていると

タネ シリクンネ ヒ オラ
 tane sirkunne hi ora
 もう 暗くなる とき こんど

あたりが暗くなって来ました。

ネア オハインカラアン ア ウシケ ウン
 nea ohainkar=an a uske un
 その まぼろしを見る(私) した 場所 を

あのまぼろしを見た場所を

75 ネウン アラム カ ソモ キ ノ
 neun a=ramu ka somo ki no
 どのように (私)思い も しない で

何気なく

インカラン ルウェ ネ アクス
 inkar=an ruwe ne akusu
 見る(私) こと だっ たところ

見ると

ネプ ネ ルウェ ネ ヤ
 nep ne ruwe ne ya
 何 な の だ か

何なのか

シウニン シク コロ
 siwnin sik kor
 青い 目 持つ

青い目をした

カムイ ネ クニ アラム プ
 kamuy ne kuni a=ramu p
 クマ だ と (私)思う もの

クマらしきものが

80 テウニン テウニン シリ
 tewnin tewnin siri
 光る 光る 様子

光っているのが

アヌカラ ヒ アナクネ
a=nukar hi anakne
(私)見る ことは

見えました。というのも

カムイ アナクネ シリクンネ コロ
kamuy anakne sirkunne kor
クマ は 暗くなる と

クマは暗くなると

シクヌミヒ シウニン ペ ネ
siknumihi siwnin pe ne
目の玉 青い もの に

目玉が青く

アヌカラ ペ ネ ヤク アイェ ア プ
a=nukar pe ne yak a=ye a p
(人)見る もの だ と (人)言っ た が

見えると聞いていたので

85 カムイ ネン カ イラマンテ クス
kamuy nen ka iramante kusu
クマ 何 か 狩りをする ために

クマが人を襲いに來たの

エキ ネ ナンコロ セコロ ヤイヌアン ワ
ek _hi ne nankor sekor yaynu=an wa
來た こと だ ろう と 思う(私) して

だろーと思ひました。

オラ イシトマアン コロ アナン ヒネ
ora isitoma=an kor an=an hine
こんど 恐れる(私) ながら いる(私) して

恐ろしくて

オラ ニペシカプ アケプ…
ora nipeskap a=kep…
こんど シナ皮剥ぎ (私)剥ぐ

シナノキの

カプフ アカラ コロ アナン ラポツケ
kapuhu a=kar kor an=an rapokke
皮 (私)剥ぎ ながら いる(私) うちに

皮を処理しているうちに

90 タネ シリクンネ ヒ クス
tane sirkunne hi kusu
もう 暗くなる ので

もう暗くなったので

ネ カプ… ニペシ カプフ
ne kapu… nipes kapuhu
その 皮 シナ の皮

その皮を

ルイルイ アペ ニペク
ruyruy ape nipek
明るい 火 光

明々と火が

マクナタラ ワ アン ペ ネ クス
maknatara wa an pe ne kusu
輝い て いる もの だ から

燃えている

ネア カプフ ネ ルイルイ アペ カシ ウン
nea kapuhu ne ruyruy ape kasi un
その 皮 その 明るい 火 の上 に

上に

95 アオスラ テク アクス
a=osura tek akusu
(私)投げる さっと したところ

さっと投げました。

アペ シリウシコサヌ テク… ヒ クス
ape siruskosanu tek… hi kusu
火 ぱっと消える さっと だ から

火がぱっと消えると

オラ イサム タ エカイニ イサム タ…
ora i=sam ta ekayni i=sam ta…
そして (私の)そば に 倒木 (私の)そば に

私のそばに倒木が

エカイエ サマムニ イサム タ アン ヒ クス
ekaye samamni i=sam ta an hi kusu
折れた 倒木 (私の)そば に ある ので

あったので

ネ サマムニ ウン イカ ワ アミ ア アミプ
ne samamni un ika wa a=mi a amip
その 倒木 の 上 から (私)着 た 着物

その倒木の上に私の着ていた着物を

100 ネ サマムニ カシ アカムレ テク ヒネ⁴
ne samamni kasi a=kamure tek hine
その 倒木 の上 (私)被せる さっと して

さっと被せました。

オラ ナニ パシ カネ テレケ カネ
ora nani pas kane terke kane
こんど すぐに 走っ て 跳ね て

そして走って跳んで

キラアン ヒネ サナン ア コロカ
kira=an hine san=an a korka
逃げる(私) して 下る(私) だった けれど

逃げて山を下りましたが

アウニ ウン タ ヘノイエアン カ ソモ キ ノ⁶
a=uni un ta henoye=an ka somo ki no
(私)の家 に は 寄る(私) も しない で

私の家には寄らずに

ナニ マチヤ オルン ヘネ
nani maciya or un hene
すぐに 町 の所 に でも

すぐ和人の町へ行こう

105 セコロ ヤイヌアン ワ
sekor yaynu=an wa
と 思う(私) して

と思いました。

オラノ ペツ ペシ
orano pet pes
そして 川 を下る

川を下って

イシカラ ペツ ホユプアン ヒネ サナン アイネ
iskar pet hoyupu=an hine san=an ayne
石狩 川 走る(私) して 下る(私) したあげく

石狩川を走って下って行き

4 自分がそこにいるように見せかける、クマの目をあざむくための行為。

5 クマが人のおいをたどって追いかけて来るという習性を知っていたのかどうかはわからないが、ひとりで家にいても襲われてしまっただろう。賢明な判断であったことが後に判明する。

タネ マチヤカランケアン ヒ
tane maciyakaranke=an hi
もう 町近くなる(私) こと

和人の町の近くに来ました。

オラノ ハウシクルカオツテアン コロ
orano hawsikurkaotte=an kor
そして 大声を出す(私) ながら

声をあげながら

110 サナン ルウェ ネ アクス
san=an ruwe ne akusu
下る(私) こと だっ たところ

下りて行ったところ

マチヤ トノ⁶
maciya tono
町 殿様

和人の町の旦那さんが

“マク ネ ハウエ ネ ヤ ネ ヤ”
“mak ne hawe ne ya ne ya”
どう だ 声 だ か だ か

「何の声だ何の声だ」

セコロ キマテクパ ヒネ
sekor kimatekpa hine
と 驚く して

と驚いて

イコウウェペケンヌパ ヒ クス
i=kouwepekennupa hi kusu
(私に)尋ねる だ から

私に尋ねたので

115 “タプネ カネ ニペシケパン クス
“tapne kane nipeskep=an kusu
このように シナ皮を剥ぐ(私) ために

「このようなわけでシナノキの皮剥ぎに

アラパアン ルウェ ネ アクス
arpa=an ruwe ne akusu
行く(私) こと だっ たところ

行ったところ

カムイ イライケ クス ヘ カムイ アヌカラ ヒ
kamuy i=rayke kusu he kamuy a=nukar hi
クマ (私を)殺す つもり か クマ (私)見る こと

私を殺しに来たらしいクマを見たのです。

シクヌミ テウニン テウニン シリ
siknumi tewnin tewnin siri
目の玉 光る 光る 様子

目の玉が光っているのを

アヌカラ ワ イシトマアン ワ
a=nukar wa isitoma=an wa
(私)見 て 恐ろしい(私) して

見て恐ろしくなり

120 キラアン ワ サナン ルウェ ネ ”
kira=an wa san=an ruwe ne”
逃げる(私) して 下る(私) こと だ

逃げて山を下りて来たのです」

6 日本語「殿」からの移入語。本当の殿様というわけではなく、和人の町に住む立派な身なりをした人をそう呼ぶことがある。この場合は、この娘が縄を売りに行っていた屋敷の主人と思われる。

セコロ ハウエアナン ルウェ ネ アクス
 sekor hawean=an ruwe ne akusu
 と 言う(私) こと だっ たところ

と言うと

ネ カムイ トノ エアラキンネ
 ne kamuy tonon earkinne
 その 立派な 殿様 本当に

その和人の立派な旦那さんは

イクムヌハウコカリ コロ
 i=kemnuhawkokari kor
 (私に)同情の声をあげ ながら

私に同情の声をあげて

オラ ナニ アシンカロ⁷ ウタラ エウン
 ora nani asinkaro utar eun
 こんど すぐ 家来 達 に

すぐ家来達に

125 “ テッポ⁸ コロパ ワ ネ カムイ
 “ teppo korpa wa ne kamuy
 鉄砲 を持つ て その クマ

「鉄砲を持ってそのクマを

コチョラウキパ ヤク ピリカ ピリカ ”
 kocorawkipa yak pirka pirka ”
 殺す と いい いい

殺しに行きなさい」

セコロ カムイ トノ ハウエアナン ペ ネ クス
 sekor kamuy tonon hawean pe ne kusu
 と 立派な 殿様 言う もの だ から

と言うので

ネ アシンカロ ウタラ
 ne asinkaro utar
 その 家来 達

家来達は

テッポ⁸ エヤイエトコイキパ ヒネ
 teppo eyayetokoykipa hine
 鉄砲 の準備を して

鉄砲の準備をしました。

130 オラ タネ シリペケレ エハンケ ヒ
 ora tane sirpeker ehanke hi
 こんど もう 明るくなる 近い とき

もう日の出が近いので

オラ インネ シサム ウタツ トウラノ
 ora inne sisam utar_ turano
 こんど 大勢の 和人 達 と一緒に

たくさんの和人達と一緒に

アラキアン ヒネ
 arki=an hine
 来る(私) して

戻りました。

アウニ タ エカン ルウェ ネ アクス
 a=uni ta ek=an ruwe ne akusu
 (私)の家 に 来る(私) こと だっ たところ

私の家に行くと

7 日本語「足軽」からの移入語。これも必ずしも武士ではなく「家の使用人」という意味で使われる。

8 日本語「鉄砲」からの移入語。

- ネ カムイ ソンノ カ イオシ エク ワ
ne kamuy sonno ka i=os ek wa
その クマ 本当に (私の)後 来 て
クマは本当に私の後を追って
- 135 ネ アアン ノイネ
ne aan noyne
だった ようで
来たのでしょう
- アウニヒ タ アフン ヒネ
a=unihi ta ahun hine
(私)の家 に 入る して
私の家に入って
- アセチヒ カ チャッチャリ。
a=secihi ka catcari.
(私)の寝床 も 散らかす
寝床を散らかしていました。
- シントコ ネ ヤッカ パッチ ネ ヤッカ
sintoko ne yakka patci ne yakka
行器 で も 鉢 で も
行器であっても鉢であっても
- オピッタ ウコ… コロトト…
opitta uko… korototo…
みんな 転がる
みんな転がって
- 140 トマ ネ ヤッカ ネプ ネ ヤッカ
toma ne yakka nep ne yakka
ゴザ で も 何 で も
ゴザであっても何であっても
- ヤシパ ヤシパ ヘ… オカ タ サナン ワ
yaspa yaspa he... oka ta san=an wa
裂く 裂く か その後 で 下る(私) して
裂かれていたのです。
- オラノ チサン コロ アウヌフ アオナハ
orano cis=an kor a=unuhu a=onaha
そして 泣き(私) ながら (私の)母 (私の)父
泣きながら母や父が
- アケムヌ…
a=kemnu…
(私)かわいそう
かわいそうで…
- アウヌフ アオナハ アエランポキウエン コロ
a=unuhu a=onaha a=erampokiwen kor
(私の)母 (私の)父 (私)をかわいそうに思い ながら
母や父がかわいそうで
- 145 チサン コロ アナン ルウエ ネ アクス
cis=an kor an=an ruwe ne akusu
泣き(私) ながら いる(私) こと だっ たところ
泣いていると
- ネ カムイ トノ エネ ハウエアニ。
ne kamuy tonono ene hawean _hi.
その 立派な 殿様 このように言った
和人の殿様がこう言いました。
- “テ ワノ アナクネ キム タ
“te wano anakne kim ta
これから は 山 に
「これからは山で

ソモ エアン ヤッカ ピリカ。
somo e=an yakka pirka.
しない (お前)いる と いい

暮らさなくてもいいよ。

マチヤ オツ タ テ ワノ エアン ワ
maciya or_ ta te wano e=an wa
町 の所 で これ から (お前)い て

和人の町でこれからは暮らして

150 エイカスイ コロ エアン ヤッカ ピリカ ナ。
e=ikasuy kor e=an yakka pirka na.
(お前)手伝い ながら (お前)いる と いい よ

手伝ってくれたらいいのだ。

ハラキカエカ アナクネ テワノ
harkikaeka anakne tewano
縄作り は これから

これからは縄作りを

ソモ エキ ヤッカ ピリカ ナ”
somo e=ki yakka pirka na”
しない (お前)する と いい よ

しなくていいよ」

セコロ カムイ トノ イェ ワ
sekor kamuy tonoye wa
と 立派な 殿様 言っ て

と和人の殿様が言いました。

オラ マチヤ オツ タ サナン ワ
ora maciya or_ ta san=an wa
こんど 町 の所 に 下る(私) して

和人の町で

155 マチヤ オツ タ アナン ヒ オラノ アナクネ
maciya or_ ta an=an hi orano anakne
町 の所 で 暮らす(私) ことそれから は

暮らすようになってからは

ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ。
nep ka a=esirkirap ka somoki.
何 も (私)苦勞する も しない

何も困ることはありませんでした。

アミプ ネ ヤッカ ピリカ アミプ
amip ne yakka pirka amip
着物 で も 良い 着物

着物もきれいな着物を

アミ ワ アナン。
a=mi wa an=an.
(私)着 て 暮らす(私)

着ました。

ピリカ クツ ネ ヤッカ アイコレ プ ネ クス
pirka kut ne yakka a=i=kore p ne kusu
きれいな 帯 も (人が私に)くれる もの だ から

きれいな帯もくれたので

160 ピリカ クツ アエクツコロ カネ キ ワ
pirka kut a=ekutkor kane ki wa
きれいな 帯 (私)しめ て い て

その帯をしめて

トノ オツ タ アナン ワ
tono or_ ta an=an wa
殿様 の所 で 暮らす(私) して

和人の旦那さんのところで

ネプ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
 nep a=esirkirap ka somo ki no
 何 (私)苦勞する も しない で

何も困ることなく

アナン アイネ
 an=an ayne
 暮らす(私) うちに

暮らしました。

ラポッケ オラ トノ エネ ハウエアニ。
 rapokke ora tonone hawean_hi.
 そのうちに こんど 殿様 このように言った

そのうちに和人の旦那さんが

165 ピリカ シサム オッカイポ ホク
 pirka sisam okkaypo hoku
 良い 和人 男 の夫

立派な和人の若者と

イコレ クナク イエ ヒネ
 i=kore kunak ye hine
 (私に)くれる と 言っ て

結婚するようにと言いました。

オラ ネ シサム ホク アコロ ワ
 ora ne sisam hoku a=kor wa
 こんど その 和人 の夫 (私)持つ て

和人の夫を持ち

シンナ アナン ワ⁹
 sinna an=an wa
 別に 暮らす(私) して

元のお屋敷とは別に所帯を持ち

ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
 nep ka a=esirkirap ka somo ki no
 何 も (私)苦勞する も しない で

何も苦勞することなく

170 アナナイネ ラポッケ ポコラン。
 an=an ayne rapokke pokor=an.
 暮らす(私) し続ける うちに 子供ができる(私)

暮らしているうちに子どもができました。

オッカヨ ポ マツカチ ネ ヤ
 okkayo po matkaci ne ya
 男 子 女の子 だ とか

男の子ども女の子も

ポ カ ポロンノ アコロ ワ
 po ka poronno a=kor wa
 子 も たくさん (私)持つ て

たくさんできて

ネプ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ アナナイネ
 nep a=esirkirap ka somo ki no an=an ayne
 何 (私)苦勞する も しない で 暮らす(私) うちに

何を苦勞することもなく暮らして

ラポッケ アポウタリ カ ルプネ シリ カ
 rapokke a=poutari ka rupne siri ka
 そのうちに (私の)子達 も 大きくなる 様子 も

子ども達が大きくなる様子を

9 主人公の身元引受人となった tonone の屋敷とは別に所帯を持つという意味だろう。

175 アヌカラ カ キ ヒネ オラ
a=nukar ka ki hine ora
(私)見る も し て こんど

見て

オンネアン シンネ クス
onne=an sinne kusu
年を取る(私) 様子だ から

年を取りました。

アポウタリ ルヅネパ ヤッカ イテキ…
a=poutari rupnepa yakka iteki…
(私の子達 大きくなって も 決して

子供達に大きくなっても決して…

アイヌ サニ エチネ プ ネ ナ。
aynu sani eci=ne p ne na.
アイヌ の子孫 (お前達)な の だ よ

おまえ達はアイヌの子孫なのだよ。

シトウム… ヌカラっていったべか。
situm... nukar

っていったべか。

180 シトウムヌカレ⁽¹⁰⁾ ソモ キ ノ
situmnukare somo ki no
いばる しない で

決していばることなく

ピリカノ シサム ウタラ コヤヨペカレ⁽¹¹⁾
pirkano sisam utar koyayopekare
よく 和人 達 に受け入れられる

和人達に受け入れられ

ヤク ピリカ ナ セコロ
yak pirka na sekor
と いい よ と

なさいと

アポ ウタリ アカシパオツテ コロ
a=po utari a=kaspaotte kor
(私の子達 (私)言い聞かせ ながら

子ども達に言い聞かせて

オンネアン ペ ネ アクス
onne=an pe ne akusu
死ぬ(私) もの だっ たところ

死んで行くので

185 アイエ セコロ
a=ye sekor
(私)言う と

お話ししますと

シネ カツケマツ イソイタク セコロ。
sine katkemat isoytak sekor.
ある 奥さん 物語る と

ひとりの女性が物語りましたとさ。

10 前掲書ではシトウムカネレとなっている。シトウムカネレ situmkanere でしゃばる [田]

11 コヤヨペカレ ko-yay-o-peka-re 《に・自分・を・受け止める・させる》